

ティーチング・ポートフォリオ・ チャート作成ワークショップ

東京大学 大学総合教育研究センター
栗田佳代子

東京大学 大学院総合文化研究科・教養学部
附属教養教育高度化機構
アクティブラーニング部門
吉田 罌

はじめに

目次

1. はじめに
2. TPとTPチャート
3. TPチャートの作成
4. ふりかえり
5. 参考文献

* TP：ティーチング・ポートフォリオ

はじめに ~自己紹介~

栗田 佳代子

- ・ 専門：高等教育、ファカルティ・ディベロップメント
バックグラウンドは教育心理学、心理統計学
- ・ 東京大学フューチャーファカルティプログラム(東大FFP)
 - ・ 「教えることを学ぶ」実践的プログラム
 - ・ <http://www.utokyofd.com/>
- ・ 「インタラクティブ・ティーチング」
- ・ 「教えることを学ぶ」オンライン講座
- ・ メールアドレス
 - ・ kurita@he.u-tokyo.ac.jp



はじめに ~自己紹介~

吉田 壘

- ・ 専門：教育工学、ファカルティ・ディベロップメント
バックグラウンドは計算機科学、生体医工学
- ・ 駒場アクティブラーニングスタジオ (KALS) の運営
 - ・ KALS: アクティブラーニングを促進する教室
 - ・ 毎期 10~15 コマの授業をサポート
- ・ KALS ワークショップの実施
- ・ より良い授業に関するご相談
- ・ メールアドレス
 - ・ yoshida@kals.c.u-tokyo.ac.jp



5

TPとTPチャート

7

目的と到達目標

目的

TPチャートの作成を通して、日頃の活動を俯瞰し、気づきを明らかにして、それらを軸に教育活動を俯瞰し、気づきを得る

到達目標

TPチャート作成により

1. 教育活動を俯瞰できる
2. 教育理念に自ら気づき書ける
3. 教育理念と方針・方法の結びつきを説明できる
4. 長期目標・短期目標を設定できる

6

TPとは

自らの教育活動について振り返り、その記述をエビデンスによって裏付けた、厳選された記録

作成の目的

- ・ 自己省察に基づく教育改善
- ・ 教育活動の可視化
 - 採用・昇進などの教育業績評価資料
 - 優れた方針、方法等の共有
 - 社会に対する情報発信

8

TPとは ～普及の現状～

- ・欧米では教育業績の評価資料として広く普及
- ・日本では主として教育改善ツールとして普及途上
 - ・中教審答申(2008)「学士課程教育の構築に向けて」
 - ・高専機構「モデルコアカリキュラム」試案 第8章
 - ・日本では約30機関が導入済、およそ500名が作成



9

TPとは ～構成～

- ・責任
 - ・理念
 - ・方針・方法
 - ・成果・評価
 - ・目標
- 教育活動の範囲
育てたい学生像, ありかた, 信念
理念を実現するための考え方, 方法
アウトカム, 学修成果, 活動の評価
理念の実現に向かう
今後のマイルストーン

11

A4版で8ページから10ページほどの本文 + エビデンス

TPとは ～特徴～

- ・自己省察
- ・エビデンスによる裏付け
- ・柔軟性
- ・厳選された情報の集積

10

TPチャートとは

- ・教育活動の俯瞰およびふりかえりを簡便に行うシート
- ・TP作成を容易にするツールとして機能

特徴

- ・個人の教育活動の視覚的整理
- ・自己省察による俯瞰と構造化
- ・短時間で作成が可能



12

TPチャートの作成

- 基本的に同色の大きな付箋を使います
- 異なる色、サイズの付箋を使う場合には適宜指示します
- 一つのふせんに一つの事項を記入します
- シェアを行いますので丁寧な字をお願いします

大学教員向けのスライドです
学生→生徒など、適宜読み替えてください

13

TPチャートの作成

- **ながれについて**
 - 普段の活動から背後の深い思考・姿勢にせまります
- **ふせんについて**
 - 一つのふせんに一つの事項を記入します
 - **黄**: これまで・現在のこと
 - **青**: これからのこと
 - **赤**: 大事なこと
 - **🍷**: 個人エピソード

15

14

専門 名前	作成 目的	感想	2 min
<p>責任</p>		<p>方法</p>	
<p>改善・努力</p>		<p>成果・評価</p>	

・専門・お名前を記入してください
 ・作成目的を記入してください
 (例) 教育活動の改善, 気づきを得たい

16

専門 名前	作成 目的	感想	4 min
責任	直近 1 年以内の教育活動をあげてください ・授業科目 科目名のみで結構です ・授業以外の活動 例) クラブ・サークル活動, 通信講座, 研究室指導, カリキュラム開発, 新任教員指導 テスト作成, 進路相談, 就職指導		17
	改善・努力	成果・評価	

専門 名前	作成 目的	感想	2 min
責任	理念	目標	18
	教育活動における改善および改善を目的とした活動をあげてください。 例) 授業デザイン研修会に参加 教育に関わる資格の取得 反転授業を導入した		
	改善・努力	成果・評価	

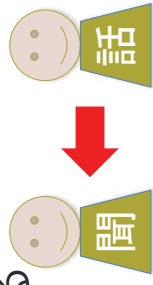
専門 名前	作成 目的	感想	2 min
責任	教育活動によって得られた学生の成果および学生・第三者からの評価をあげてください。 例) 授業評価の評価が高い 学生が教育の成果を生かせる就職をした 学生が教育成果を活かした進学先を選んだ 学生の最終レポートの質が高い 卒業生との継続的な交流がある 学生が研究を学会で発表した ベスト・ティーチャー賞の受賞 同僚教員からの高い評価		19
	改善・努力	成果・評価	

シエア1 教育の責任と改善・評価成果

所属・専門についての自己紹介をしましょう。
 手元のチャートをもとに、
 教育活動として行っていること、および改善に向けた努力、成果・評価について相手に説明
 しましょう。

<話し手>

- 教育活動をわかりやすく説明する
- 専門用語は極力使わない



<聞き手>

- まずは興味を持って聞くことに徹する
- ポジティブなフィードバックをする

専門 名前	作成 目的	感想	5 min
	理念	目標	
	方針		
責任	これまでの教育経験において いつも行っていること 重要視して用いていること 自分の教育を特徴づける方法 をあげてください。 「 <u>考え</u> 」ではなく「 <u>行い</u> 」を書いて下さい		改善・努力 成果・評価
			22

専門 名前	作成 目的	感想	5 min
	理念	目標	
	方針		
責任	「方法」にあげたふせんをグルーピングしながらそれらの方法を用いている理由を「方針」としてあげてください。 「なぜこのようなことをしているのか」について考えてください。 なぜ学生にとつてこれが大切なのか なぜ自分にとつてこれが大切なのか 学生の学問をどのようにとらえているのか といった観点から考えてみるとよいでしょう。 (例) フィードバックをすることで学習内容の定着をはかる 受動的ではなく能動的に自分の頭を使って学ぶ		改善・努力 成果・評価
			24

専門 名前	作成 目的	感想	5 min
	理念	目標	
	方針		
責任	「方法」にあげたふせんをグルーピングしながらそれらの方法を用いている理由を「方針」としてあげてください。 「なぜこのようなことをしているのか」について考えてください。 なぜ学生にとつてこれが大切なのか なぜ自分にとつてこれが大切なのか 学生の学問をどのようにとらえているのか といった観点から考えてみるとよいでしょう。 (例) フィードバックをすることで学習内容の定着をはかる 受動的ではなく能動的に自分の頭を使って学ぶ		改善・努力 成果・評価
			24

専門 名前	作成 目的	感想	6 min
	理念	目標	
責任	<p>グループは線で囲みましょう。 グループはいくつになってもかまいませんが2つ以上みつめてください。 事項が一つしかないグループ、あるいは複数のグループにまたがる「方法」があってもよいです。</p>		26
	改善・努力	成果・評価	

専門 名前	作成 目的	感想	6 min
	理念	目標	
責任	<p>「理念」に「方針」であげた事項をグルーピングしながら、その方針を用いている理由をあげてください。</p>		26
	改善・努力	成果・評価	

専門 名前	作成 目的	感想	3 min
	理念	目標	
責任	<p>「理念」について、理念を持つに至った個人的なエピソードがあればりんごのふせんにあげてください。 例) 影響を受けた人物 影響を受けたできごと</p>		27
	改善・努力	成果・評価	

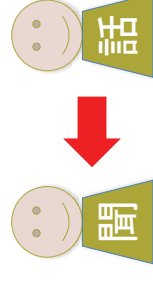
専門 名前	作成 目的	感想	4 min
	理念	目標	
責任	<p>「理念」「方針」「方法」が対応しているかどうかについて確認をしてください。</p>		28
	改善・努力	成果・評価	

シェア2 教育理念と方針・方法

手元のチャートをもとに、「教育理念」および「理念を具現化している方針・方法」とともに、相手に説明しましょう。

<話し手>

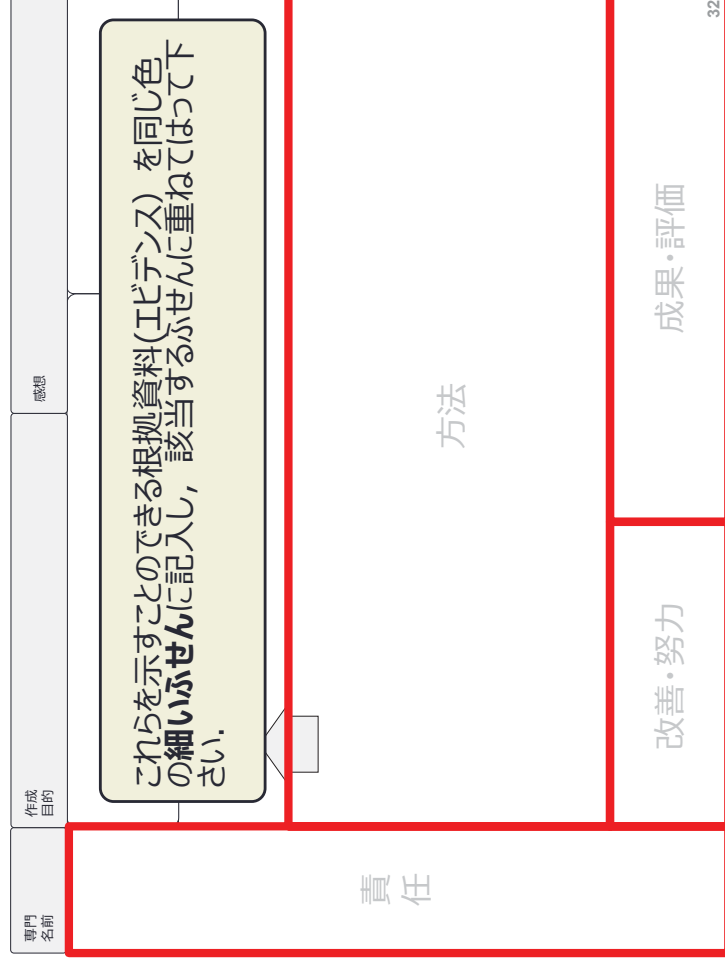
- 理念と方針・方法の対応付けを説明する
- 専門用語は極力使わない



<聞き手>

- まずは聞くことに徹する
- ポジティブなフィードバックをする
- 理念については、「繰り返し」、「言い換え」あるいは「さらなる問いかけ」

対話のなかで、新しく考えたこと、整理し直したことを反映させてください。



専門 名前	感想	目標
シラバス 配布資料の現物 ウェブサイトのスクリーンショット グループワーク課題資料 スライド資料 講義ノート 試験問題 学生から提出されたレポート 学生からのお礼の手紙/メール 授業評価の対応項目/コメント 授業の様子の写真 学生の研究発表原稿 資格取得修了書 公開講座チラシ		授業評価の項目/コメント 優秀なレポート 学生の進路 学生からのメール/手紙 学生の研究発表 学生の受賞 同僚教員の評価 上司の評価
改善・努力		成果・評価

33

シエア3 エビデンス

細かい付箋のついていない付箋のエビデンスを互いに考えてあげてください。考えたエビデンスは手持ちの色の違う細かい付箋にあげて、該当する付箋に重ねてはってください。

34

専門 名前	作成 目的	感想	2 min
責任		理念	目標
全体を見渡し、今後達成したいと考える教育に関する目標をあげてください。 短期目標はTo Doリストのように具体的にできない/できないが明確に記述してください。短期目標は適切なエリアにはります。		方針	
改善・努力		成果・評価	

35

専門 名前	作成 目的	感想	2 min
責任		理念	目標
TPチャート作成をふりかえり、感想を記入してください。		方針	
改善・努力		成果・評価	

36

終了です いかがでしたか？

シエア4 目標

手元のチャートをもとに、ご自身の理念をまえおきにしつつ、短期目標および長期目標を中心に説明してください。

あわせてTPチャートを作成してみた感想をシエアしてください。



教育活動が整理できましたか？
どんな気づきがありましたか？
メンターの疑似体験もしました
(作成支援者)

37

38

おつかれさまでした

理念と方法の再検討

39

40

理念と方法 レビューの前に

- 理念と方法の対応付けを考える意義
 - 理念がより明確になる
 - 今後用いるべき方法が明確になる
 - 気付いていなかった方法を把握する
- これからの作業は理念を明確にするためのもの
 - 理念を否定するわけでは全くない
 - 方法が足りなくても今後実施すれば良い

41

理念と方法 公開レビュー①

- 理念と方法の対応付けを考える
 - (全体) 理念と方法の対応付けを説明する
 - (全体) 対応付けに関する質問をする
 - 方法は理念を実現しているか？
 - 理念を実現するための方法は他にないか？
 - 理念に方針・方法が書かれていないか？
 - 理念同士の関係はあるか？

42

理念と方法 公開レビュー②

- 理念と方法の対応付けを考える
 - (全体) 理念と方法の対応付けを説明する (5分)
 - (1人) 対応付けに関する質問を考える (3分)
 - 方法は理念を実現しているか？
 - 理念を実現するための方法は他にないか？
 - 理念に方針・方法が書かれていないか？
 - 理念同士の関係はあるか？
 - (ペア) 対応付けに関する質問を共有する (4分)
 - (全体) 質問を共有する

43

理念と方法 ピアレビュー

- 理念と方法の対応付けを考える
 - (1人) 理念と方法の対応付けを見直す (5分)
 - (ペア) 理念と方法の対応付けを説明する
 - 対応に関する質問をして対応を検討する (8分×2)
 - 疑問があれば、合わせて書き出しておく
 - (全体) 疑問を共有する

44

TPC WS を実施するために

- ・ (全体) TPC WS の流れを説明する
 - ・ TPC WS の事前準備物
 - ・ TPC WS のタイムスケジュール
 - ・ TPC WS を実施する上で気をつけるべき点
- ・ (1人) 実施する際に気になる点を書き出す (3分)
- ・ (ペア) 気になる点を共有する (5分)
- ・ (全体) 気になる点を共有・解消する

45

46

TP チャート作成 ワークショップを実施するために

交流

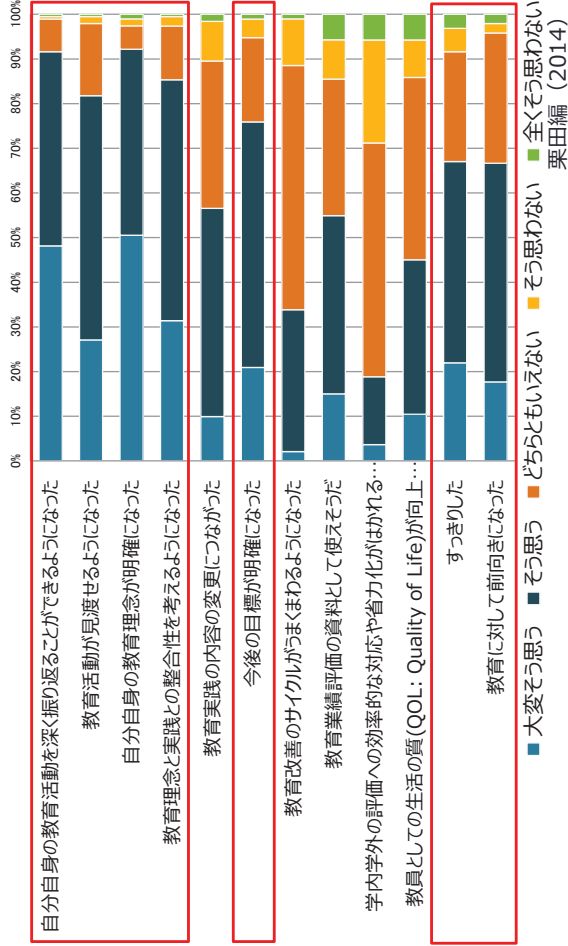
補足資料

47

48

TPとは ~作成の感想~

TP WS



参考文献

- ・ 大学評価・学位授与機構監訳・栗田佳代子訳 ピーター・セルディン著(2007)『大学教育を変える教育業績記録』 玉川大学出版部 (Peter Seldin (2004) The Teaching Portfolio: A practical guide to improved performance and promotion/tenure decisions 3rd ed. Anker Publishing Company, Inc.)
- ・ 大学評価・学位授与機構監訳, 栗田佳代子訳, ピーター・セルディン著 (2007)『大学教育を変える教育業績記録』, 玉川大学出版, 388ページ (Peter Seldin (2004) The Teaching Portfolio: A practical guide to improved performance and promotion/tenure decisions 3rd ed. Anker Publishing Company, Inc.)
- ・ 大学評価・学位授与機構監訳, 栗田佳代子訳, ピーター・セルディン, エリザベス・ミラー著(2009)『アカデミック・ポートフォリオ』玉川大学出版部 364ページ (Peter Seldin and J. Elizabeth Miller (2008) The Academic Portfolio: A Practical Guide to Documenting Teaching, Research, and Service, Jossey-Bass Higher and Adult Education)
- ・ Kurita, K. (2013) Structured strategy for implementation of the teaching portfolio concept in Japan, International Journal for Academic Development, International Journal for Academic Development, 18(1), 74-88 (DOI: 10.1080/1360144X.2011.625622)
- ・ 栗田佳代子(編) (2014)『ティーチング・ポートフォリオの定着・普及に向けた取り組み—効果検証・質保証・広がり』 大学評価・学位授与機構
- ・ 栗田佳代子(編) (2012)「ティーチング・ポートフォリオの導入と次のステップ—導入とその先の課題, および更新ワークショップの提案—」大学評価・学位授与機構
- ・ 栗田佳代子, 加藤由香里, 井上史子, 尾澤重規, 城間祥子, 皆本寛弥 (2010) ティーチング・ポートフォリオ: 導入の意義と可能性, 大学教育学会誌, 32(2), 55-59
- ・ 国立高等専門学校機構「モジュールコアカリキュラム (試案)」
<http://www.kosen-k.go.jp/news/news20120419.html>
- ・ 大阪府立大学高等ティーチング・ポートフォリオ研究会 (編)『実践 ティーチング・ポートフォリオスターブック』, NTS出版
- ・ Yoshida, L., & Kurita, K. (2016). Evaluation of Structured Academic Portfolio Chart and Workshop for Reflection on Academic Work. Procedia Computer Science, 96, 1454-1462.
- ・ 吉田豊, 栗田佳代子 (2016) ポートフォリオ作成を支援するメンタリングチェックシートの開発と応用, 大学教育学会誌, 38(1), 172-180
- ・ 吉田豊, 栗田佳代子 (2015) 大学院生版アカデミック・ポートフォリオの開発, 日本教育工学会論文誌, 39(1), 1-11

